

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



なかなか治らない皮膚疾患の
相談窓口開設しました!



難治性皮膚疾患治療センター長 城野 剛充

【特集】

難治性皮膚疾患治療センターのご紹介

- VOICE
- 医学シリーズ 心臓血管外科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

特集

難治性皮膚疾患治療センターの紹介

COVID-19 が蔓延し、明るい話題の少ない医療界ですが、そんな時代にも皮膚科分野における各種難治性疾患の治療は新薬の開発や保険適用の拡大など少しずつながら確実に進歩を続けています。その中でも慢性蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬等の疾患は生物学的製剤を中心に 10 年前にはなかった治療法が確立しつつある状況で、軽症例から重症例まで患者さまの症状に合わせていわばオーダーメイド的な治療が検討されるようになりました。とはいえ、既存の治療で改善が乏しいような重症例では患者さまを取り巻く病因は多岐に渡る事も多く、全身的な病態把握と治療の副作用等への対応も必要となり、総合病院でなければ新しい治療法の導入には二の足を踏まざるを得ない事もあるのが現状です。本来そのような症例は熊本大学病院皮膚科へ治療依頼する事で解決するのですが、同院皮膚科への患者さま紹介が一極集中してしまう事で飽和状態になることもあって、クリニックや医院あるいは他科の先生方からは「このくらいで大学病院へ紹介して良いのか？迷惑をかけないか？」という疑心暗鬼に苛まれて紹介できないというお声も聞こえていました。

そこで、前置きが長くなりましたが、この度当院ではなかなか治らない皮膚疾患を気軽にご紹介いただけるように「難治性皮膚疾患治療センター」を開設し、当院皮膚科副部長の城野剛充がセンター長を拝命いたしました。長年、熊本大学病院にて皮膚リンパ腫や ICU での集中治療を要する皮膚疾患を中心に診療

に当たってきた経験を活かし、当院で加療可能な症例はできる限りお引き受けし、紹介元の医療機関と協力して患者さまが最大の満足を得られる治療に当たらせていただく所存です。施設の・人員的に当科で対応困難な症例は当科を介して熊本大学病院へ協力を仰ぎ、各医療機関と熊本大学病院の間を取り持つ事の出来る機関として皆さまのお役に立つ事も考えています。

これまでも熊本医療センター皮膚科として皮膚関連救急疾患は積極的にお引き受けしてきましたが、難治性皮膚疾患治療センターの趣旨としては「必ずしも緊急性はない慢性に経過する難治性病態」の受け入れ先と考えていただければと思います。具体的には皮膚リンパ増殖性疾患、慢性蕁麻疹、尋常性乾癬、難治性アトピー性皮膚炎等を中心にご紹介いただく事を念頭においております。糖尿病に関連した慢性病態や感染症などは今まで通り熊本医療センター皮膚科にて対応させていただきます。

地域の医療機関の先生方と患者さまへ、より良い皮膚科診療環境を提供させていただく事が最大の目的ですので、「なかなか治らない皮膚疾患」に遭遇しましたらお気軽にご相談下さい。

難治性皮膚疾患治療センター長
じょうの たかみつ
城野 剛充



VOICE

登録医の声



医療法人 如水会
嶋田病院

いけだ ひろゆき
院長 池田 拡行



◆貴院のアピールをお願いします

昭和 49 年熊本の地に透析クリニックを開設して以来、透析・痛風治療を中心に地域医療の一端を担ってまいりました。現在は、慢性腎臓病・糖尿病・生活習慣病の診療に力を入れ、かかりつけ医機能の強化を図っております。

リハビリテーションにも力を入れており、整形外科リハビリテーションはもちろん、呼吸器リハビリ・心臓リハビリテーションなど内科的リハビリテーションの提供を行っております。

新たな取り組みとして腎臓リハビリテーションにも取り組んでおります。

地域の皆様に頼りとされる病院であり続けたいと日々向上心を持ち、スタッフ一同、努力して参りたいと思います。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

これといった趣味は持っていませんが、最近は何日の午前を中心に、ぶらぶらと県内の温泉巡りを楽しんでいます。

先日伺った南阿蘇の垂玉温泉では美しい滝を眺める露天風呂と湯上がりのコーヒーに癒やされました。



◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

救急での受け入れや難しい症例にいつも迅速に対応して頂き、感謝しております。また、腎臓内科の先生方にはシャントトラブルや透析導入などご加療を頂き厚く御礼申し上げます。

今後ともよろしくお願いいたします。

【診療科目】

腎臓内科 / 人工透析内科 / 代謝内科 / 内科
リハビリテーション科 / 呼吸器内科

【診療受付時間】

【一般外来】午前 9:00 ~ 12:00
午後 13:30 ~ 16:00

【外来透析】月~土 8:30 ~
夜間透析 月・水・金 15:30 ~

【休診日】

日曜日・祝日

【住所】

〒860-0017 熊本県熊本市中央区練兵町 24

【TEL】

096-324-3515

【FAX】

096-324-5190



最近のトピックス

胸部大動脈瘤について

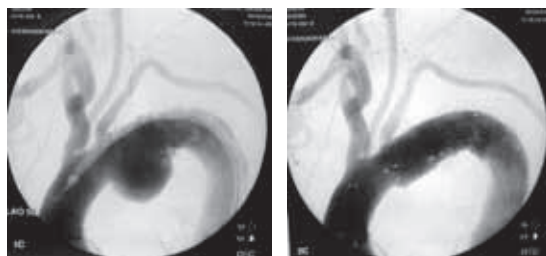
国立病院機構熊本医療センター
心臓血管外科部長おかもと
岡本みのる
実

大動脈は人体で最も太い血管であり、内側から内膜、中膜、外膜という3層で構成された計2mm程度の厚みをもった、丈夫で弾力のある血管です。心臓の左心室から送り出された血液は大動脈弁を通過し、ここから大動脈となります。大動脈に生じる疾患の主なものは大動脈がこぶ状に膨らむ大動脈瘤や大動脈の壁が裂ける大動脈解離（くす通信2014年7月1日に詳細があります）があげられます。大動脈には常に高い圧力（血圧）がかかっており、動脈硬化などにより脆くなった血管は徐々に膨らみ「こぶ」が生じることがあります。これを動脈瘤と言い、胸部大動脈（上行大動脈、弓部大動脈、下行大動脈）に発生したものを胸部大動脈瘤と呼びます。この「こぶ」の部分の血管がもろくなり、どんどん拡大し破裂に至ります。しかし動脈瘤の多くは無症状で経過し、胸部レントゲン写真などで偶然に見つけれられる場合がほとんどで、胸部大動脈瘤が疑われた場合は、CTなどの詳細な画像診断を行う必要があります。大動脈瘤が発生した場合は、自然に治癒することがなく、いずれ破裂するものであるため、手術による治療が必要です。大動脈瘤が破裂した場合は出血性ショックから死亡する可能性があり、また、緊急手術を行っても救命できる確率は高いとは言えません。したがって破裂する前に手術を行う必要があります。このためCTにより瘤径（大きさ）を測定し、大きさにより手術を早めに行うか定期的にフォローアップするかを決定します。

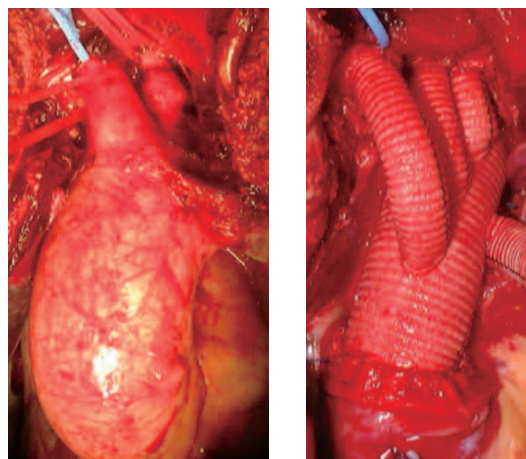
手術方法は大動脈瘤の発生部位等によって異なっており、拡大した大動脈を人工血管に置換する手術（人工血管置換術）と、血管内治療（ステ

ントグラフト内挿術）です。人工血管置換術を行う際には人工心肺装置が必須となり、心臓に近い大動脈基部—上行大動脈—弓部大動脈瘤の手術の際には、人工心肺を使用した上で、心停止の状態でする手術を行う必要があり、また脳血管の血流を維持しなければならない場合、通常よりも多くの回路を必要とする脳分離体外循環といった方法も取られます。手術術式、体外循環法の改良により近年手術成績が向上してきていますが、手術の侵襲が大きく、脳梗塞などの合併症も無視できません。一方、ステントグラフト内挿術はカテーテル類を用いて足の付け根の血管（大腿動脈）から治療するものであり、人工血管置換術と比較して低侵襲であることが特徴で、近年急速に発展してきました。この方法は適応できる範囲が限られていましたが、分枝血管に対するバイパス手術などを用いることで、弓部大動脈瘤などに対する治療も行われており、今後も新たな治療法の開発が期待できる領域です。

ステントグラフト挿入



人工血管による弓部置換術





救急外来での呼吸音の観察場面



症例発表会の様子



修了式の記念撮影

特定行為研修の修了式を終えて

看護師特定行為研修担当
よしおか かおる
吉岡 薫



令和3年12月24日に第3期生の修了式を開催し、熊本県看護協会の本会長より「少子高齢社会での活躍」を期待する祝辞を賜り、身の引き締まる門出となりました。

今年度は、自分の考えを“まとめる”“語る”場を重視して教育計画を検討しました。本研修の受講生は目的意識が高いため、主体性が優先され個人行動になりがちです。しかし、医師やチーム内でのディスカッションをけん引するためには、根拠をもって相手と対話する能力も重要です。そこで、今年度の取り組みを紹介します。

まず、医療面接場面を設定し看護師役と患者役を体験する演習では、受講生によって患者のショック、疑問、困りごとを想像できないことがあります。そのため、患者役を修了生や指導者が臨場感をもって演じることで、看護師役の受講生は患者役の感情に寄り添って対応することができていました。演習後の振り返りでは、身体面だけに目を向けるのではなく、信頼関係の構築が重要であるとの学びを述べていました。

次に、臨床実習で印象に残った実践過程を深め症例発表を行いました。1名は痛みを表出できないJCS300の患者の快適性に着眼し、もう1名は意思決定能力はあるが病態により意思の疎通が十分でない場合のジレンマを取り上げ、各々 jonsen の4分割法を用いて倫理的検証を行っていきました。出席の指導医などから活発な発言や支持があり、今後の看護の礎を見いだす機会となったと感じています。

特定行為研修修了者には、“実践する”判断と“実践しない”判断が課せられているので、自律性や倫理的な判断力が求められます。研修では、これらの能力を高めるための支援にも努めています。

研修に関して、勤務施設が整備すること、受講者が準備することなど、疑問・質問はお気軽にお問い合わせください。

研修生より

救命救急センター副看護師長・
救急看護認定看護師
いまむら ゆうた
今村 祐太



令和3年12月24日に、約7カ月間に及ぶ看護師特定行為研修を滞りなく修了することができました。

私は、救急領域パッケージを修了しました。特定行為研修では、臨床推論や直接動脈穿刺等、高度で専門性の高い知識や技術の習得に加え、倫理的態度の重要性を再認識する事ができました。救急看護は生命の危機的状況にある患者に対し、刻一刻と変化する状況を的確に見極め、迅速に介入する能力が求められます。

今後は、特定行為研修で学んだ事を駆使し、重症患者への早期介入や重症化予防、社会復帰への援助を実践していきたいと思えます。

研修医レポート

臨床研修医

錦戸 佳南子
にしきど かなこ



こんにちは。研修医1年目の錦戸佳南子と申します。東京女子医科大学医学部を卒業し、4月から熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。研修が始まって半年が経ちましたが、まだまだ未熟なところばかりで学ぶことばかりの日々を過ごしています。そんな私ですが、スタッフの方々に日々助けていただき何とか研修生活を送ることができています。毎日少しでも前進し、この地域の医療に貢献できるように尽力する次第です。

私の研修生活は腎臓内科からのスタートでした。はじめは、電子カルテの使い方やオーダーの使い方等を覚えることで精一杯でした。医師として働くためには、医学の知識・手技を

身に付けるだけではいけないのだなと痛感いたしました。腎臓内科では透析治療をされている患者さまや腎炎発症の患者さまの診察・治療に加勢させてもらいました。やはり学生時代の見学が主だった実習とは見える景色も違うもので、日々新鮮な気持ちで働けております。これも様々な知識や手技を熱心にご教授して下さる指導医の先生方のおかげであり、恵まれた環境で研修できることを非常にありがたく思っています。

また、各診療科での研修と並行して救急外来での当直も行っております。こちらは日々の業務とは全く違った緊張感を感じております。忙しさを感じる現場ではありますが、望んで入ったこの研修生活にやりがいも感じています。この現場では、指導医の先生方はもちろん、2年目の研修医の先生方に大変お世話になっております。来年のこの時期に今の先輩方のようになれているように精進いたします。

慌ただしい毎日ではありますが、スタッフの方々に支えられながら、充実した日々を過ごさせていただいております。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

臨床研修医

津川 貴博
つがわ たかひろ



こんにちは。研修医1年目の津川貴博と申します。長崎大学医学部を卒業し、4月から熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。早くも半年が経ち、優しい先生方や看護師、スタッフの方々のご支援もあり、東京オリンピック・パラリンピックも閉幕したかと思いきや、2021年も終わり、新しい年を迎えました。

ひょっこ社会人として、仕事を基準とした生活に慣れるまでに時間はかかりましたが、多大なご迷惑をおかけしながら、指導医をはじめ、多くの先生方に優しく手取り足取り教えて

いただき、また患者さまの温かい言葉にも支えられながら、きつい時もなんとか踏ん張れています。研修医2年目の先輩方も、カルテやオーダーなど病棟業務で何もわからない私に、時間をかけて理解できるまで横に座りこんでたくさんのお話を教えてくださいました。

最初は何もかもが不安でしかたなかったのですが、この文章を書きながら半年を思い起こしてみると、この病院で研修できたことを改めて喜ばしく思っています。

つい先日マッチングも終了し、私の後輩となる次期研修医1年目が決定しました。今の先輩方にどれだけ近づけるのかはわかりませんが、後輩の不安を取り除いていけるだけの知識を残し半年で詰め込み、また後輩といえどお互いペーパー同士、一人前の医者となり地域へ貢献できるよう切磋琢磨して頑張ろうと思います。

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2022年2月研修のご案内

小児科火曜会【WEB配信あり】

日時▶ 2月22日（火）19：00～21：00
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修室 1

第27回 国立病院機構熊本医療センター医学会 ※1月15日（土）延期後開催のお知らせです。

日時▶ 2月26日（土）9：30～15：25
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール

~~第50回 国立病院機構熊本医療センター 開放型病院連絡会~~

~~日時▶ 2月26日（土）18：30～20：30
場所▶ 国立病院機構熊本医療センター研修ホール~~

2月5日開催予定の「第49回 診断と治療」は中止となりました。

2月26日開催予定の「第50回 開放型病院連絡会」は中止となりました。

※今後の感染状況や熊本県の動向を踏まえ、急遽中止や延期にさせていただきます場合がございます。
最新の情報は当院ホームページでご確認いただくか、事務局までお問い合わせください。

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター
QRコード▶ 



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565
096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和4年2月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎 吉村 文孝	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	
	血液	河北 敏郎 杉谷 浩規	原田 奈穂子 三井 士和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 西田 周平(午前再診)	西田 周平(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 大村 和寛(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	(午前紹介/院内コンサルト) 原 英記	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 原 英記(院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏			小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	吉井 隆一	中村 朋文	松下 昂樹	富田 正郎	
	腫瘍内科	境 健爾 三井 士和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 士和	境 健爾 榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀	杉 和洋 中田 成紀 向坂 健佑	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 松田 暖	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟	
	内視鏡	午前	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟	松山 太一 馬見塚 大悟	松山 太一 松田 暖	中田 成紀 向坂 健佑 志茂田 美紀	石井 将太郎 松田 暖
		午後	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟 松田 暖	石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀 松田 暖	中田 成紀 松山 太一 馬見塚 大悟 松田 暖	中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 馬見塚 大悟	石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀
	腹部超音波	杉 和洋 松田 暖	石井 将太郎 志茂田 美紀 松田 暖	中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟	石井 将太郎 馬見塚 大悟	松山 太一 志茂田 美紀	
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	藤本 和輝 日下 裕章(新患) 木村 優一(新患)	田山 信至 野津原 淳(隔週 新患) 長倉 拓究(隔週 新患)	松原 純一(新患) 日下 裕章	藤本 和輝(新患) 野津原 淳 長倉 拓究 白尾 友宏	松原 純一 木村 優一 田山 信至(新患)	
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めの方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	森並 次朗 荻野 肅	山下 建昭	
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡	
小児科	診察	水上 智之	西村 円香	水上 智之	水上 智之	山下 貴大	
	免疫	水上 智之		水上 智之	水上 智之		
	血液	右田 昌宏		山下 貴大		右田 昌宏	
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科		宮田 辰徳 藤川 和晃	水元 孝郎 井上 光弘	野元 大地	宮成 信友 井上 光弘	久保田 竜生	
	脳神経センター (脳神経外科)	中川 隆志 大塚 忠弘	手術日	宮崎 愛里 大塚 忠弘	中川 隆志	斎藤 大嗣 大塚 忠弘	
(脳神経内科)	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸			
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平		坂本 佳菜子 高木 寛		中馬 東彦 高島 佑輔	
泌尿器科	前田 喜寛 銘苅 晋吾	菊川 浩明 鯨島 智洋 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 山中 達郎	東 俊之介 / 担当医		
産婦人科	高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	西村 弘 山本 直		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 志茂田 裕	手術日	担当医	上村 尚樹 志茂田 裕		
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	市村 知佳	西 葉月	中嶋 仁美	
	再診 (その他 初診)	城野 剛充 市村 知佳	牧野 公治 西 葉月	市村 知佳 中嶋 仁美	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 中嶋 仁美	
形成外科	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 石田 拓也		
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、山口 晃世					
	画像診断	根岸 孝典、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、井上 聖二郎、幸村 紘子、吉松 俊治					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		休診		(午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談)		
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科		森 久美子 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 森 久美子 谷口 広祐(隔週) 中川 文雄 早川 真奈(隔週)	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 早川 真奈	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文 早川 真奈	
	救命救急センター	櫻井 聖大、橋本 聡、山田 周、深水 浩之					
看護外来	ストーマ	國友 耕太郎		木村 文彦		宮内 大介	
	がん看護	専門看護師(午前)	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師	
	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師	専門看護師	専門看護師	
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師		

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。 R4/2/1